

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録、研究同意頂いて採取した血液を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	Brain-first、Body-first レビー小体型認知症の臨床的特徴、血漿シヌクレイン濃度との関連
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者(個人情報管理者)	(診療科名) 精神科 (職名) 講師 (氏名) 吉野 祐太
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2029年10月31日
対象となる方	60歳以上の愛媛大学附属病院・精神科を受診された患者さんで、2015年11月～2024年12月の期間にDATスキャン、MIBGシンキンシンチグラフィ双方を半年以内に行った方
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、画像検査データ(DATスキャン、MIBGシンキンシンチグラフィ)、臨床症状 (利用する試料) 遺伝子解析研究のためのバンク構築(受付番号2508003号)に同意いただき採取した血液
研究の概要(目的・方法)	レビー小体型認知症(DLB)はシヌクレインを原因として形成されるレビー小体が病態に関与します。脳内への沈着により認知機能障害、パーキンソン症状が出現することに加え、心臓の自律神経、腸の神経叢にも沈着し起立性低血圧、便秘などの身体症状に関わります。レビー小体が沈着する部位は症例によって変わり、脳から沈着するものをbrain-first、脳以外から沈着するものをbody-firstとされます。これらの臨床的特徴および生化学的な変化を捉えることを研究の目的としています。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2025年10月11日 第1版

	<p>重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院精神科 吉野 祐太 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5315</p>